

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

## 1 調査日

令和4年4月19日（火）

## 2 調査集計対象

小学校第6学年児童 全国 965,308名（うち江戸川区 5,337名）

## 3 区内実施校数

全小学校 69校

## 4 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

## 5 調査内容

### ① 教科に関する調査

- 国語・算数・理科

### ② 生活習慣や学習環境に関する調査

- 児童質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）
- 学校質問紙調査（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査）

江戸川区教育委員会教育指導課

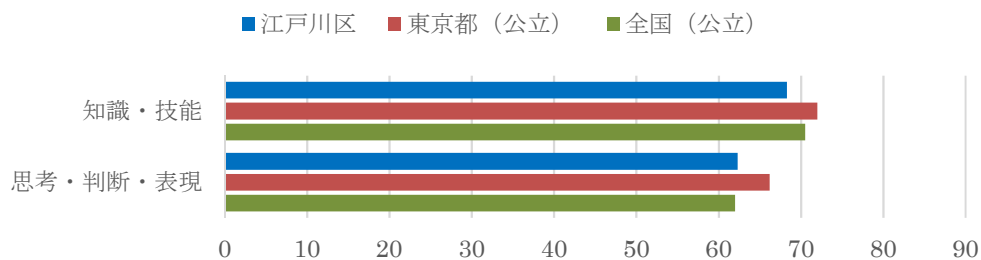


# 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

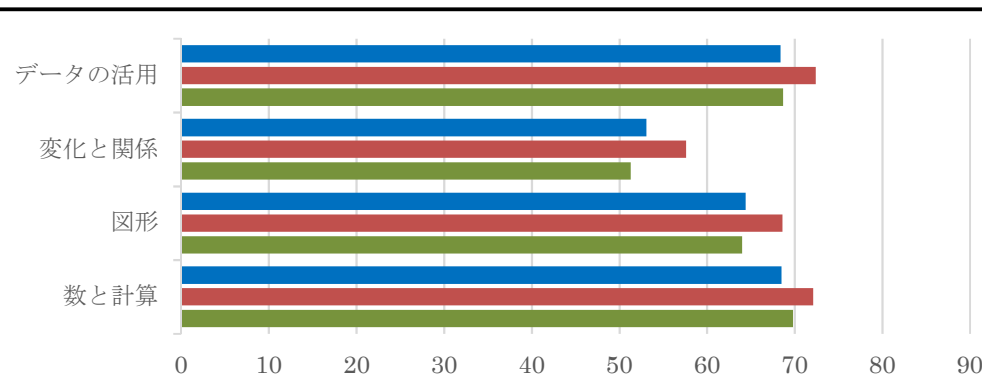
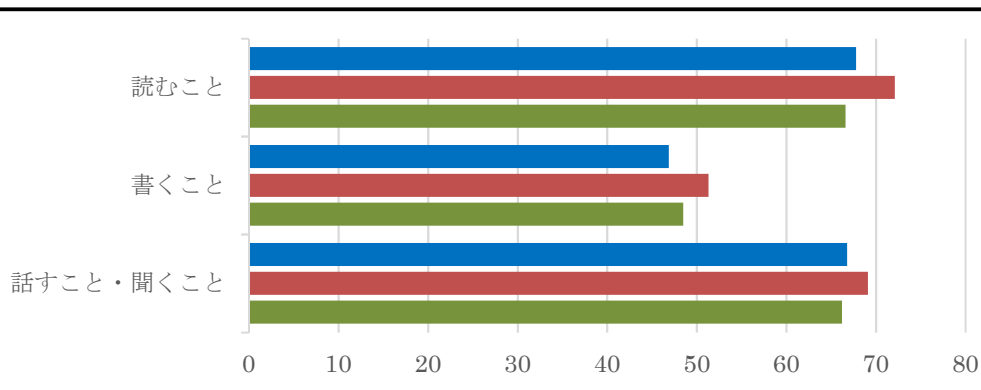
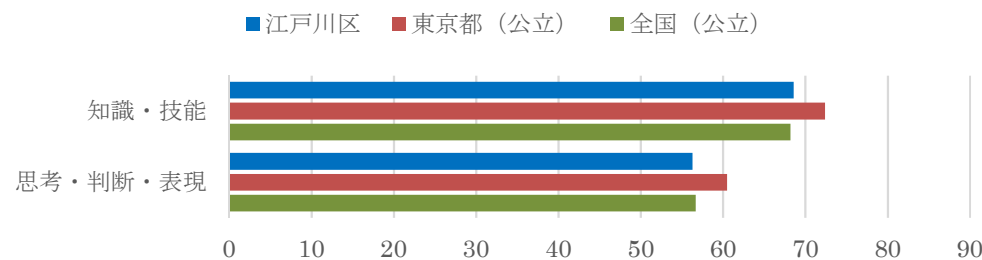
## 「領域別」の結果

以下、平均正答率（％）を示す。

### 国語



### 算数



### 【平均正答率の差】

	国語	算数
江戸川区（区立）	65%	63%
東京都（公立）	69%	67%
全国（公立）	65.6%	63.2%
都との差	-4ポイント	-4ポイント

### 【全国平均、東京都平均との関係】

＜全国との関係＞

○国語・算数とも、全国平均正答率と同程度である。

○「知識・技能」において、国語の正答率は全国平均正答率を2.2ポイント下回り、算数の正答率は全国平均正答率と同程度である。「思考・判断・表現」において、国語、算数は、全国平均正答率と同程度である。

＜東京都との関係＞

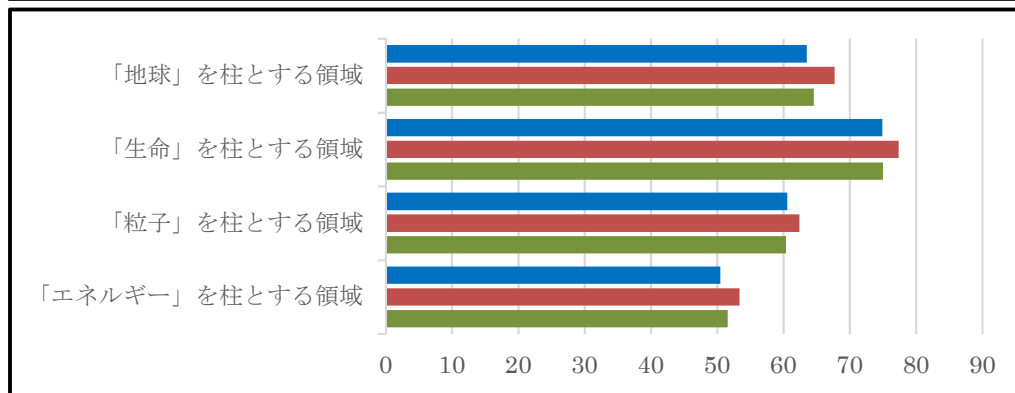
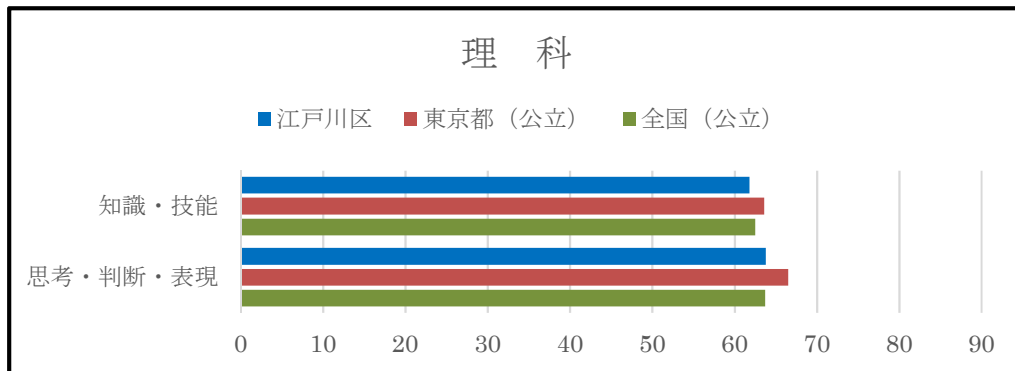
○国語、算数ともに、全ての領域において都平均正答率を下回る。

○「知識・技能」において、国語は3.7ポイント、算数は3.8ポイント、都平均正答率より下回る。

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

## 「領域別」の結果

以下、平均正答率（％）を示す。



### 【平均正答率の差】

	理科
江戸川区（区立）	63%
東京都（公立）	65%
全国（公立）	63.3%
都との差	-2ポイント

### 【全国平均、東京都平均との関係】

#### <全国との関係>

○理科において、全国平均正答率と同程度である。

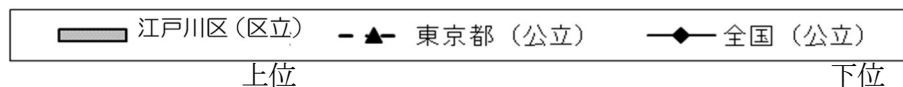
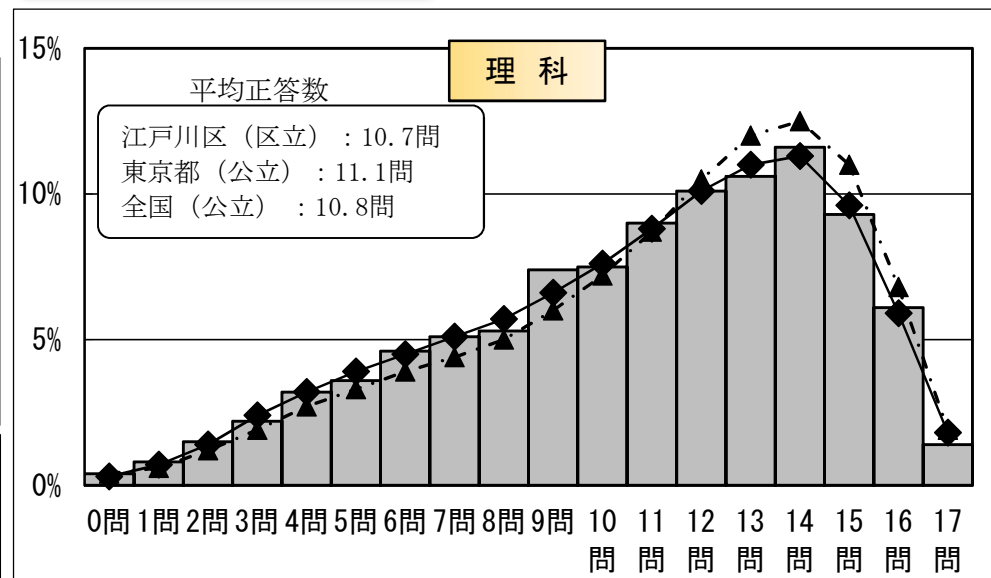
○「知識・技能」において、理科の正答率は全国平均正答率を0.8ポイント下回り、「思考・判断・表現」において、全国平均正答率と同程度である。

#### <東京都との関係>

○理科について、全ての領域において都平均正答率を下回る。

○「知識・技能」において1.8ポイント、「思考・判断・表現」において2.7ポイント、都平均正答率より下回っている。

## 正 答 数 分 布



理 科	A層	B層	C層	D層
	14～17問	12～13問	9～11問	0～8問
江戸川区（区立）	28.4	20.7	23.9	26.7
東京都（公立）	32.2	22.5	21.9	23.4
全国（公立）	28.6	21.1	23.0	27.2

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

## 国語 「設問別」の結果と課題

### 平均正答率が全国より高い問題

一 森田さんは、ふせんをはったところをもう一度読んでいます。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 森田さんは、……部①に表れている「ぼく」の気持ちについて考えています。「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを、次の1から5までのの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 模型の宇宙船が手に入らない悲しさ
- 2 本物の宇宙船を手に入れた喜び
- 3 本物の宇宙船を作ることへのあこがれ
- 4 本物の宇宙船を作ることへの不安
- 5 模型の宇宙船を見た感動

【出題の趣旨】 2一(1)(2)  
登場人物の行動や気持ち、相互関係について、叙述や描写を基に捉える。

【正答率】  
江戸川区 72.5%  
東京都 75.8%  
全国 69.5%

【本区のこれからの取組】  
国語の基本である「文章を正確に読み取る」力が身に付いていると判断できる。読書活動等の機会を活用し、物語を読む経験を繰り返し、正確な読み取りの上で登場人物の気持ちを捉える力を引き続き伸ばしていく。

### 平均正答率が都・全国より低く、無解答率が高い問題

三 島谷さんは、「文章2」を読み、習っている漢字がひらがなになっていた。漢字に書き直すことにしました。部ア、イ、ウを

次の——部アを漢字でていねいに書きましょう。

南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアろくがして、各学級にしようかいたそうです。

次の——部イを漢字でていねいに書きましょう。

そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイはんせいしました。

【出題の趣旨】 3三アイウ  
学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

【正答率】	【無解答率】
江戸川区 61.8%	17.7%
東京都 65.7%	14.2%
全国 63.7%	11.0%

【本区のこれからの課題】  
各教科等における基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得は、学力向上において必要不可欠な要素である。引き続き、学力の基盤となる基礎・基本の徹底に向けて取組を進める。

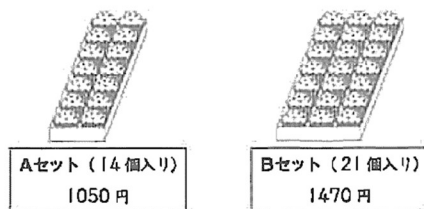
# 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

## 算数 「設問別」の結果と課題

### 平均正答率が全国より高い問題

1

カップケーキが、下のように売られています。1箱14個入りで1050円のAセットと、1箱21個入りで1470円のBセットがあります。

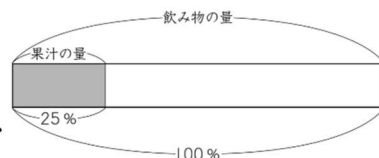


- (1) ゆうごさんは、Aセットを4箱買うことにしました。  
Aセット4箱分の代金を求める式は、 $1050 \times 4$ です。  
 $1050 \times 4$ を計算しましょう。

2

果汁入りの飲み物について考えます。

- (1) オレンジの果汁が25%ふくまれている飲み物があります。  
飲み物の量をもとにしたときの、果汁の量の割合を分数で表しましょう。



#### 【出題の趣旨】

- (1) 整数の乗法の計算ができる。
- (1) 百分率で表された割合を分数で表すことができる。

【正答率】 1 (1) 江戸川区 92.5% 全国 92.4% 東京都 93.5%  
2 (1) 江戸川区 73.6% 全国 71.1% 東京都 76.8%

#### 【本区のこれからの取組】

(1) の設問が高い正答率を表していることから、基礎的な学力が身に付いてきていると判断できる。授業改善や補習教室を活用し、引き続き基礎的・基本的な知識・技能の習得に取り組んでいく。

### 平均正答率が都・全国より低く、無解答率が高い問題

- (3) 次に、くるみさんは、カップケーキの個数を7個にそろえて考えることにしました。

#### 【くるみさんの考え】

Aセットのカップケーキ7個分の値段  $1050 \div 2 = 525$  525円  
Bセットのカップケーキ7個分の値段  $1470 \div 3 = 490$  490円  
カップケーキ7個分の値段は、Bセットのほうが安くなります。



Aセットのカップケーキ7個分の値段を、 $1050 \div 2$ で求めることができるのはどうしてですか。

ゆうごさんは、Aセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1050 \div 2$ 」で求めることができるわけについて、下のように説明しました。

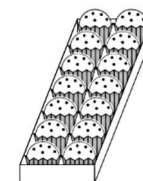
#### 【ゆうごさんの説明】

1列のカップケーキが7個ずつ2列あります。2列の値段が1050円なので、1050を2等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができます。

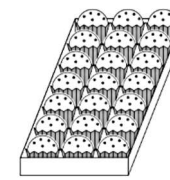


ゆうご

Bセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1470 \div 3$ 」で求めることができるわけについて考えます。そのわけを【ゆうごさんの説明】と同じように、言葉と数を使って書きましょう。



Aセット (14個入り)  
1050円



Bセット (21個入り)  
1470円

#### 【出題の趣旨】 1 (3)

示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。

#### 【正答率】

江戸川区 70.3%  
東京都 72.4%  
全国 76.0%

#### 【無解答率】

7.7%  
6.2%  
5.2%

#### 【本区のこれからの課題】

引き続き、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を進めるとともに、考えた解法を、言葉と数を用いて説明する力を高める必要がある。



# 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果報告【小学校】

## 理科 「設問別」の結果と課題

### 平均正答率が全国より高い問題

(5) ひろしさんたちは、左の表に、さらに調べたこん虫を加えているときに、次のことに気づきました。

#### 【気づいたこと】

- ・幼虫のときにも、成虫のときにも、植物を食べるこん虫がいた。
- ・幼虫のときにも、成虫のときにも、動物を食べるこん虫がいた。
- ・表のこん虫以外で、成虫のときに植物も動物も食べるこん虫がいる。

ひろしさんは、【気づいたこと】をもとに、【問題】を見つけ、解決していくことにしました。どのような【問題】を見つけましたか。下の 1 から 4 までの中から最も適切なものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 表のこん虫以外で、さなぎになるこん虫は、いるのだろうか。
- 2 モンシロチョウの幼虫は、キャベツの葉を食べるのだろうか。
- 3 表のこん虫以外で、幼虫のときに植物も動物も食べるこん虫は、いるのだろうか。
- 4 なぜ、ゲンゴロウの幼虫や成虫は、動物を食べるのだろうか。

#### 【出題の趣旨】

観察などで得た結果を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。

#### 【正答率】

江戸川区 67.6% 東京都 68.7% 全国 65.5%

#### 【本区のこれからの取組】

自分や他者の気づきを基に分析して、解釈し、問題を見いだすことができる力の育成が重要である。それぞれの気づきを明確にし、差異点や共通点を見いだす場面を設定し、引き続き自分の考えをもつことができる力を高める指導を実施する。

### 平均正答率が都・全国より低く、無解答率が高い問題

実験の【結果】は、下の表のようになりました。

#### 【結果】

〈かんの色による水の温度の変化〉

かんの色	時間	0分	20分後	40分後
黒		24℃	28℃	32℃
赤		24℃	27℃	29℃
青		24℃	27℃	30℃
白		24℃	25℃	26℃



はなこさん

【問題】に対するまどめは、「はね返した日光を水の入ったかんにあてると、黒色のかんの水の温度が最も高くなる。」といえる。

(4) はなこさんが、下線部のようにまどめたわけを上【結果】を使って書きましょう。

#### 【出題の趣旨】 3 (4)

実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる

#### 【正答率】

江戸川区 32.8%  
東京都 37.0%  
全国 35.1%

#### 【無解答率】

14.5%  
12.6%  
11.2%

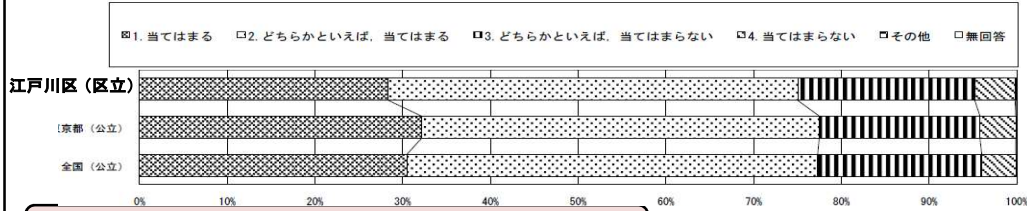
#### 【本区のこれからの課題】

観察、実験などで得た結果について分析して、解釈し、より妥当な考えをつくりだすことができるようにするために、結果を事実として分析して、解釈し、それを結論の根拠として表現できる力を高める必要がある。

# 令和4年度 児童質問紙調査【小学校】

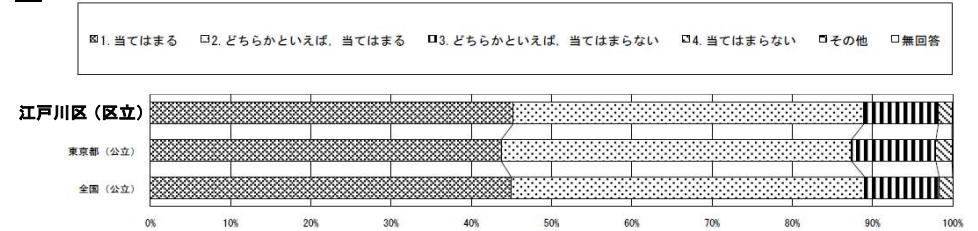
## 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

39 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

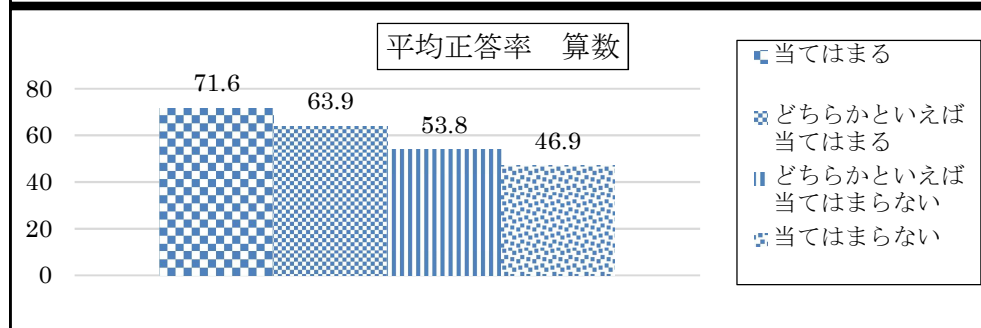
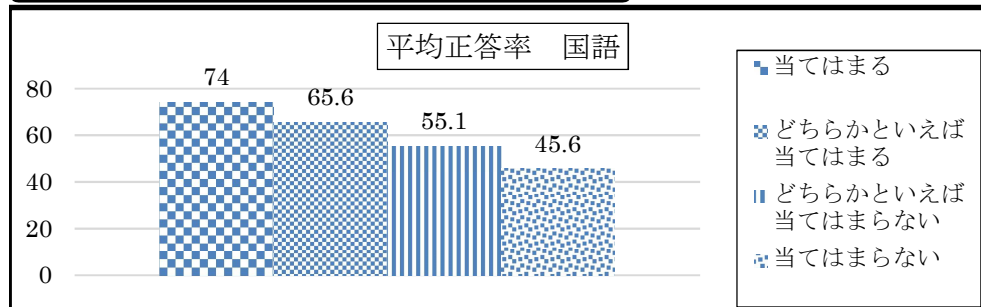


## 規範意識・自己有用感等

12 人が困っているときは、進んで助けていますか。



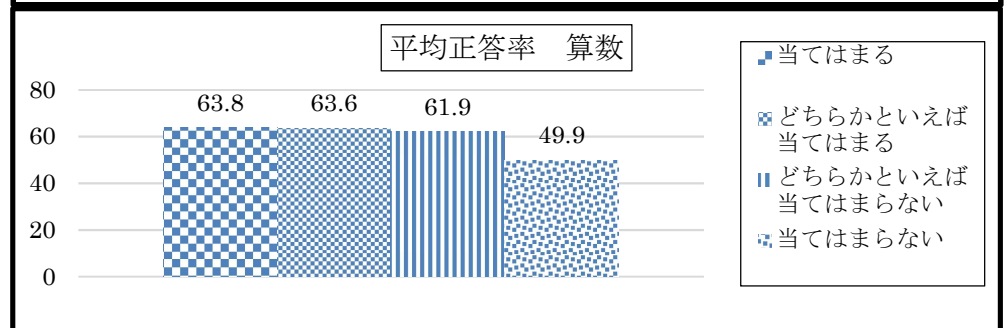
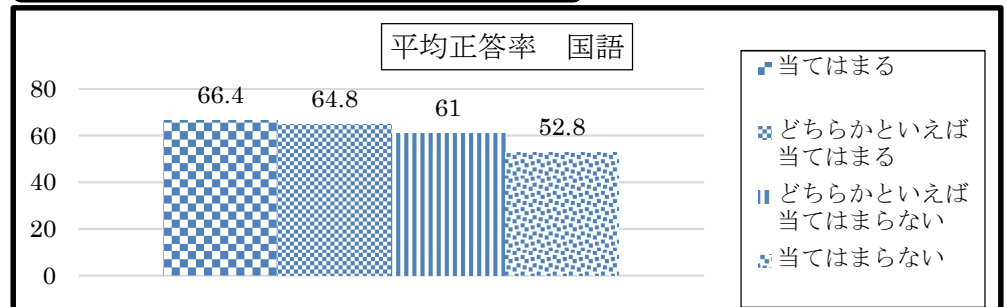
## 授業への主体的な取組と学力のクロス集計



「当てはまる」と肯定的に回答した児童の割合が、全国及び都を下回っている。課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいると回答した児童の方が、そうでない児童よりも平均正答率が高い傾向にある。

児童が課題に対して主体的に取り組むことができるよう、授業の導入や教材の内容、課題提示等の工夫をし、自主的・自発的に学習に取り組む態度を養う必要がある。

## 規範意識の高まりと学力のクロス集計



「当てはまる」と肯定的に回答した児童の割合が、全国及び都を上回っている。人が困っているときは助けていると答えている児童の方が、そうでない児童よりも平均正答率が高い傾向にある。

児童一人一人の規範意識を高め、そういった児童の努力や態度を認め励ますことで、きまりを守ることの心地よさを味わわせるとともに、授業を効率的・効果的に進めていく必要がある。

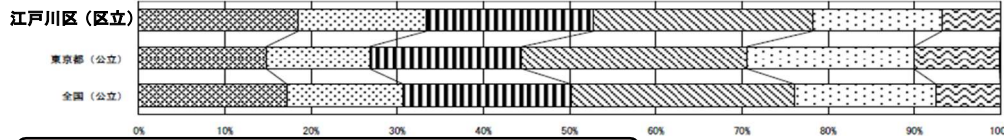


# 令和4年度 児童質問紙調査【小学校】

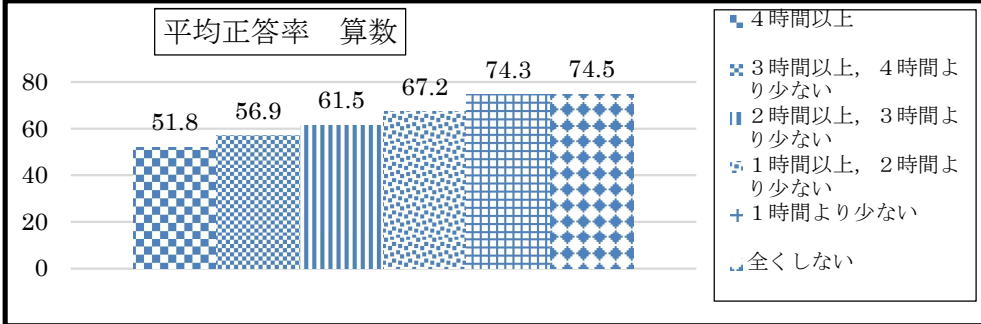
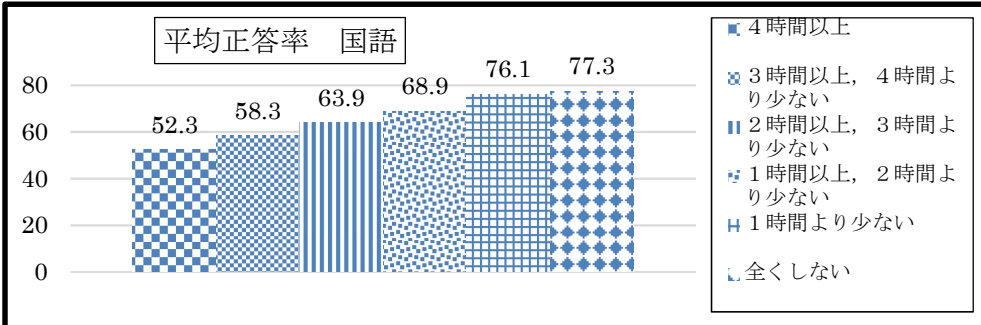
## 基本的な生活習慣等

5 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

1. 4時間以上       2. 3時間以上、4時間より少ない       3. 2時間以上、3時間より少ない       4. 1時間以上、2時間より少ない  
 5. 1時間より少ない       6. 全くしない       その他       無回答



## テレビゲームの時間と学力のクロス集計

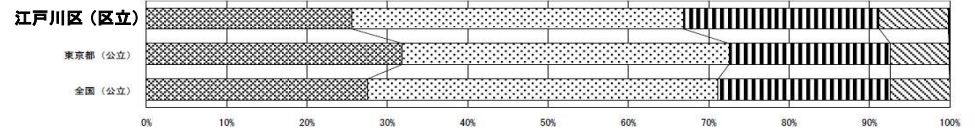


テレビゲームをする時間が全くない、もしくは1時間より少ないと回答した児童の割合が、全国及び都を下回っている。テレビゲームに費やす時間が少ない児童の方が、多い児童よりも平均正答率が高い傾向にある。また、SNSや動画視聴についても同様の傾向にある。SNS家庭ルールを適宜見直し、生活習慣を整え、家庭学習の時間を確実に確保することで、学力の向上に努めていく必要がある。

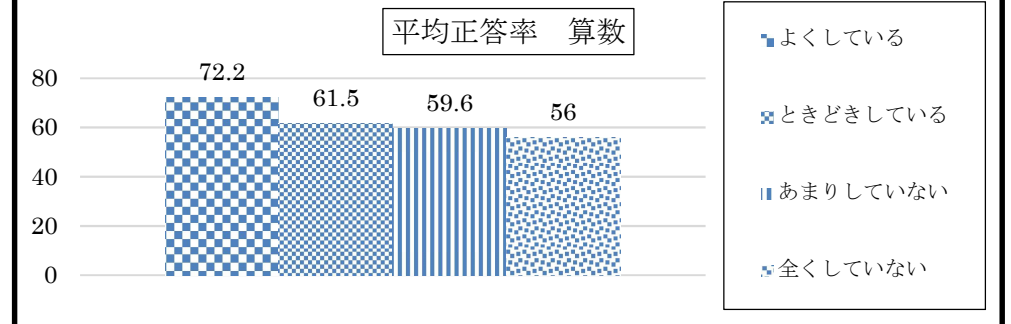
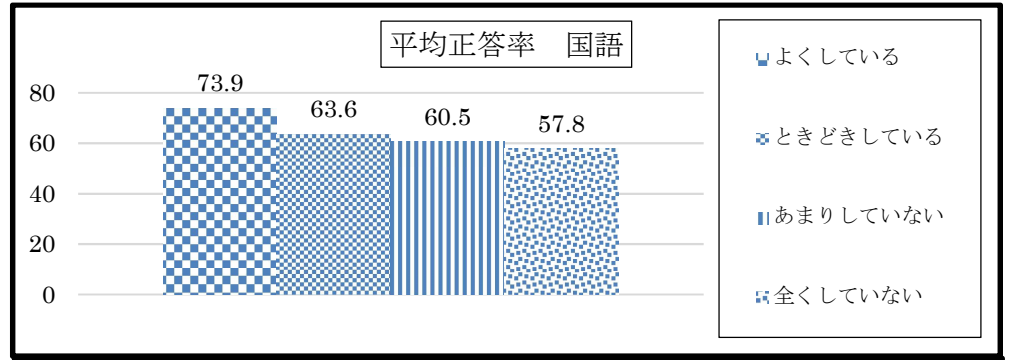
## 学習習慣・学習環境等

20 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）。

1. よくしている       2. ときどきしている       3. あまりしていない       4. 全くしていない       その他       無回答



## 学習計画と学力のクロス集計



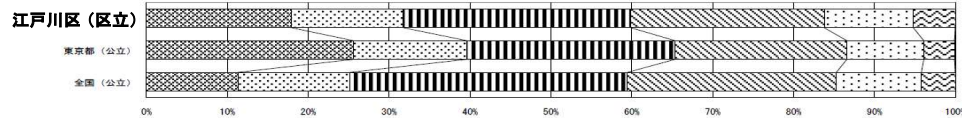
「自分で計画をたてて勉強をよくしている」と回答した児童の割合が、全国及び都を下回っている。自分で計画的に勉強を進めていると回答した児童の方が、そうでない児童よりも平均正答率が高い傾向にある。授業以外でも児童が自発的に学習を続けられるよう、放課後補習教室の活用、一人一台端末での家庭学習等、児童が自ら意欲的に学習できる環境を整えることが必要である。

# 令和4年度 児童質問紙調査【小学校】

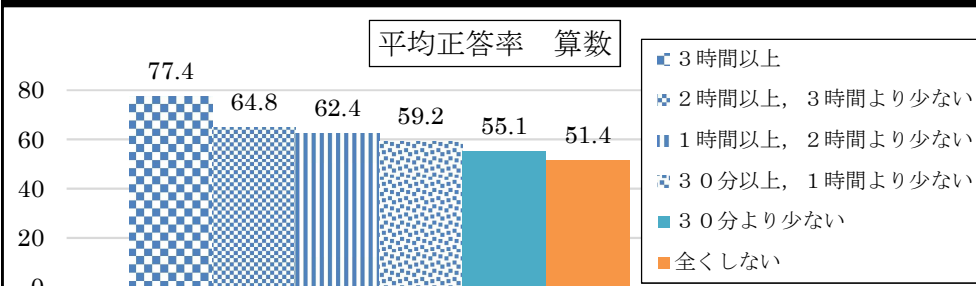
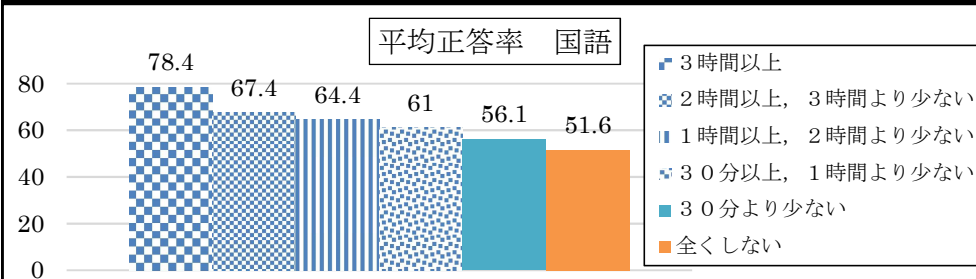
## 学習習慣・学習環境等

21 学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネット学習を含む）

1. 3時間以上    2. 2時間以上、3時間より少ない    3. 1時間以上、2時間より少ない    4. 30分以上、1時間より少ない  
5. 30分より少ない    6. 全くしない    その他    無回答



## 学習習慣と学力のクロス集計



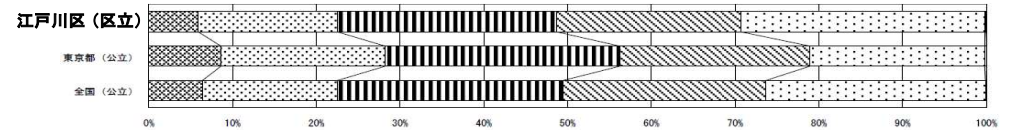
学校の授業時間以外の勉強時間が「3時間以上」から「30分以上」と回答した児童の割合が、全国及び都を下回っている。学校の授業時間以外の勉強時間が多い児童の方が、そうでない児童よりも平均正答率が高い傾向にある。

放課後補習教室や家庭学習等をとおして、児童が自ら意欲的に学習し、さらなる学力の向上に努める必要がある。

## ICTを活用した学習状況

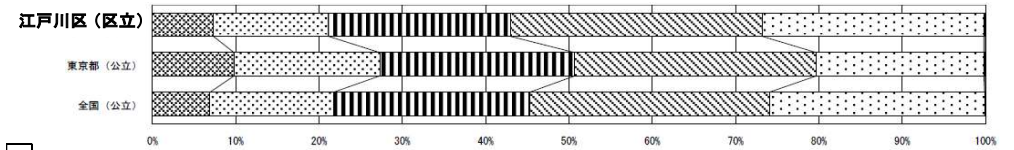
34 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。

1. ほぼ毎日    2. 週3回以上    3. 週1回以上    4. 月1回以上    5. 月1回未満    その他    無回答



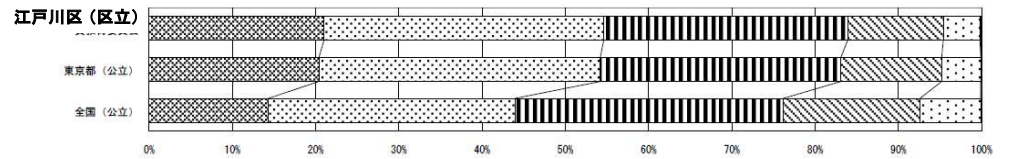
35 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。

1. ほぼ毎日    2. 週3回以上    3. 週1回以上    4. 月1回以上    5. 月1回未満    その他    無回答



33 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。

1. ほぼ毎日    2. 週3回以上    3. 週1回以上    4. 月1回以上    5. 月1回未満    その他    無回答



学校で、児童同士が意見交流を行ったり、自分の考えをまとめたり、発表したりする場面での、PC・タブレットなどのICT機器の使用状況について、「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」と回答した児童の割合が、都と全国の割合を下回っている。

また、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を使用することについて、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童の割合が、全国と都を上回っている。

「一人一台端末の活用」と、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業改善が求められる中、生徒自らがICT機器を活用して学習していく取組を推進していく必要がある。

# 令和4年度 学力向上に関わる主な取組【小学校】

## ○「確かな学力向上推進プラン」の改訂

- ・「江戸川区立学校における学力向上に向けた取組の指針について」における論点を基に、学力向上に向けた具体的な取組を推進

## ○「放課後補習教室」の実施

- ・放課後補習教室事業の実施（令和4年度から全校102校で実施）
- ・年間約150日間実施

## ○ガイドラインに基づく効果的な「習熟度別指導」の推進

- ・算数の授業において、効果的な「習熟度別指導」を実施

## ○ICTを活用した協働学習の推進

- ・各教科等の授業で一人一台端末を活用し、授業改善を実施

## ○学校図書館の活用

- ・学校図書館の環境整備を進め、各教科等で学校図書館を活用
- ・学校図書館への区立図書館職員の全校巡回

## ○「読書科」の充実

- ・読書を通じた探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成（全校の各学年で年間35時間実施）
- ・読書科推進研修の拡充（年間7回）

## ○eライブラリアドバンスの活用

- ・eライブラリアドバンス（国語、社会、算数、理科）を活用した放課後補習を実施（ICT支援員を派遣）
- ・児童の自宅での活用を推奨（IDとパスワードを配布）
- ・「eライブラリアドバンス 江戸川っ子 study week!」の実施（各学期に1週間実施し、平均年間総学習回数が多い学校を表彰）